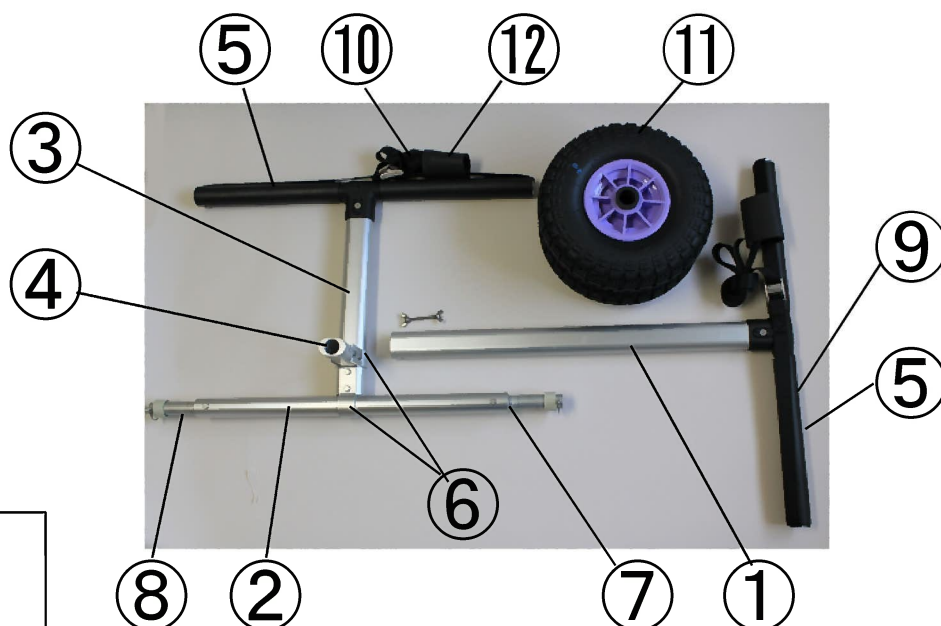


WL08D/WL08E スタンドアップパドルボードトローリーDタイヤ/Eタイヤ



完成写真

使用工具
10番スパナ
+ドライバー



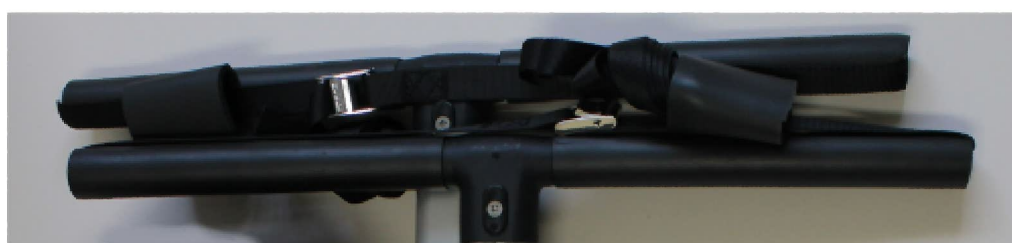
品番	部品名	数量	品番	部品名	数量
1 WL07-A	WL07 前フレーム 670mm	1	P07-06	SUSナットM6	7
2 WL07-B	WL07 車軸フレーム 560mm	1	P05-06	SUSスプリングワッシャーM6	5
3 WL08-C	WL08 立上がりフレーム 370mm	1	P04-6-50	SUS六角ボルト6-50	2
4 WL07-D	WL07 前フレームジョイントパイプ 100mm	1	P02-6-45	SUSプラス皿6-45	2
5 WL08-E	WL08 受けパイプ組込品	2	P04-6-60	SUS六角ボルト6-60	2
6 IB060030AA	楕円50x34フラケット連結固定30mm	2	Z736-3	F710/F200車軸シャフトカラー(アルミパイプL=2	2
7 Z507	BY-100/200/1480-4 車軸シャフト用カラー	2	Z521	Dリング	2
8 Z506-3	BY/F620用車軸シャフト TA30A、B、J用 143mm	2	P14-6-55	SUS蝶ボルト6-55	2
9 JL456-1	ラバークッション(WL08用)285mm	4	P08-06	SUS蝶ナットM6	2
10 MTP001	カムベルト25mmx4M 黒	2			
11 TA30D	Dタイヤベアリング410/350-5ホース幅82mm	2			
11 TA26E	Eタイヤ12" PLARIM25.9mm+EVAホース幅55mm	2			
12 WL08-F	WL08用バックルカバー	2			



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売して
おります。

各部の組立

各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。



受けパイプにラバークッションを入れ、カムベルトをパイプ内に通します。
ラッシングする際、バックルの部分にバックルカバーをかぶせてください。
※ラバークッションは水等を着けるとスベリ入り易いです。

中央のTジョイントに前フレーム、立
上りフレームを差し込んでプラス皿
6-45、ナットM6で固定します。

立ち上がりフレーム 370mmと車軸フレーム 560mmを
連結固定金具 30mmでジョイントし
ボルト6-50、スプリングワッシャー、ナットで固定します。
次に立ち上がりフレームに連結固定金具 30mmを通し
前フレームに付いているジョイントパイプを
蝶ボルト&ナットで取り付けます。



車軸フレーム 560mmに車軸シャフト
用カラーと車軸シャフトをSUS六角ボ
ルト6-60、SUSスプリングワッシャーM6、
SUSナットM6で取付します。
タイヤを車軸に入れてDリングを入
れて完成です。
注意！Eタイヤ仕様は付属の車
軸シャフトカラーエンビパイプをスペーサー
として車軸に入れてください！

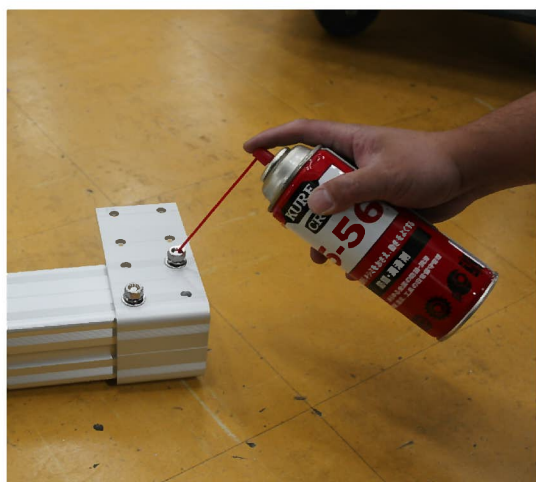
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。



タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA40F/TA40G/TA40J（ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用）

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

TA40A(アルミランチャー、トランサムドーリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1